



朝晩気温が下がり、風が心地よく感じる季節となりました。

スポーツの秋・食欲の秋・読書の秋…皆様はどんな秋をお過ごしですか。

秋になるとくしゃみが止まらない・目がかゆい・皮膚が痒くなる・赤くなる…などの症状はありませんか。

もしかしたら、秋の花粉かもしれません。

秋の花粉症の原因として多いのはブタクサ・ヨモギ・カナムグラなど草の花粉で、飛散する期間は8月から10月です。その中でもブタクサ花粉は花粉の粒子が小さいため、気管に入って喘息のような症状を引き起こすケースもあります。家の中で症状が強くなるような場合には花粉症ではなく、ハウスダストの可能性もあります。ハウスダストには、室内のほこりやダニ（死骸）・髪の毛・フケ・カビなどが含まれます。夏の暑い時期に繁殖するダニは秋になると死んでしましますが、その死骸は小さく非常に軽いので人や空気によって舞い上がります。それがアレルギーを引き起こし、鼻炎症状にとどまらず喘息に発展することもあるので注意が必要です。



ブタクサ



ヨモギ



カナムグラ

いずれの場合も何が原因でアレルギー症状が起きているのかを知ることが大切です。

当院では、血液検査にて花粉やハウスダスト・食品を含むアレルギー性疾患の主要な原因となるアレルゲンの有無や程度を調べることができます。

思い当たる原因がある場合には、当院の**内科・皮膚科**までご相談ください。

内科：月～金曜日 午前/午後 土曜日 午前（第3のみ 午前/午後）

皮膚科：月曜日 午後 金曜日 午後



形成外科って何をする科…？整形外科や皮膚科と何が違うの…？



今月号のコントレイルは形成外科のご紹介をします。

形成外科（けいせいげか）とは、身体に生じた組織の異常や変形、欠損、あるいは整容的な不満足に対してあらゆる手法や特殊な技術を駆使し、機能のみならず形態的にもより正常により美しくすることによって皆様の生活の質“Quality of life”の向上に貢献する、外科系の専門領域です。

整形外科は身体の芯になる骨・関節などの骨格系とそれを取り囲む筋肉やそれらを支配する神経系からなる「運動器」の機能的改善を重要視して治療する外科で、背骨と骨盤というからだの土台骨と、四肢を主な治療対象にしています。**皮膚科**はアトピーや湿疹などの皮膚疾患に対して投薬治療をメインに行います。これらに対し形成外科は、生まれながらの異常や、病気や怪我などによってできた身体表面が見目のよくない状態になったのを改善する（治療する）外科で頭や顔面を含めたからだ全体を治療対象としています。

形成外科で扱う疾患



外傷、外傷後変形（けが、やけどなど または けがや手術の傷跡、変形）

体の浅い部分のけが、傷などはすべて形成外科の治療分野です。

例えば擦り傷、切り傷、やけど、しもやけ、顔の骨折、それに交通事故などにより皮膚が剥がれてしまった場合なども治療します。

また、以前のけがの傷跡でケロイド状（傷跡が盛り上がった状態）になったもの、ひきつれをおこしているもの、顔の骨が折れて顔のゆがみを来しているものなども形成外科の治療分野です。

形成外科では患者様の見た目もできるだけよくしようと考えて治療をしているため、手術の後の目立つ傷跡もできるだけ目立たなくすることが肝心と考えています。

腫瘍、腫瘍手術後変形（皮膚のできもの または その手術後の傷跡、変形）

主に体の表面の腫瘍をできるだけ機能や形態を損なわないように治療する分野です。

また、他の科の手術で失われた組織を治すこともします。

表在性先天異常（生まれつきの体の表面の形など）

体の表面の形に関する生まれつきの異常はすべて形成外科で行います。

耳、鼻、口、手指など多くの病気があります。

その他（巻き爪、陥入爪）

痛みや腫れが生じたり、さらに傷ができて膿んでしまっている状態のことです。保存的治療と手術療法があります。

湿疹、いぼ、蕁麻疹などの皮膚科症状や腋臭症、男性型脱毛症などにお悩みの方も是非一度ご相談ください。

